

# 〈ものと人間の文化史 173〉 11月上旬発売！

ISBN 978-4-588-21731-9 C0321 / 四六判・上製 366 頁 / 定価 (本体 3500 円+税)



安土桃山時代にポルトガルから伝来した〈かるた〉は、その後二百年余の鎖国の間に、当時の美術、文芸や地口、芸能などを幅広く巧みに取り入れ、今や世界遺産となった〈和紙〉や〈和食〉にも匹敵する独自の日本文化として発展し成熟した。

本書は、名著『うんすんかるた』の著者・山口吉郎兵衛をはじめ、鈴木棠三や森田誠吾らの先行研究をふまえながらも、従来ほとんど手つかずであった法制史関連の史料を含む文献史料と、著者自身の膨大なコレクションを軸とする物品史料の両面から諸説を逐一検証してその誤りを正し、〈いろはかるた〉や〈百人一首〉はもとより〈めくりカルタ〉などの賭博用具まで、〈かるた文化〉の全体像を描き出す。

主要目次 はじめに / 第1章 カルタ日本に上陸す / 第2章 日本化するカルタ / 第3章 日本式かるたの誕生 / 第4章 賭博カルタ文化の開花 / 第5章 かるた文化の全盛 / 第6章 かるたの近代 / 第7章 かるたの現在 / おわりに / 索引



「三池カルタ」より (復元・三池カルタ記念館製)



三代豊国「教訓いろはたとゑ」より (国立国会図書館蔵)

江橋 崇 (えばし たかし) 1942年に生まれる。1966年、東京大学法学部卒業。法政大学法学部教授(憲法学)を経て、現在、同大学名誉教授。遊戯史学会副会長。著書に『花札』(ものと人間の文化史167, 法政大学出版局), 『「官」の憲法と「民」の憲法』(信山社), 『外国人労働者と日本』(岩波ブックレット), 『市民主権からの憲法理論』(生活社)。共編著に『外国人労働者と人権』『グローバル・コンパクトの新展開』『企業の社会的責任経営』『東アジアのCSR』(以上、法政大学現代法研究所発行/法政大学出版局発売), 『外国人は住民です』『人権政策学のすすめ』(以上、学陽書房), 『象徴天皇制の構造』(日本評論社), 『岩波講座現代の法』(岩波書店), 監修に『図説カルタの世界』(大牟田市立三池カルタ記念館), 『麻雀博物館大図録』(竹書房), 『総合的学習に役立つ くらしと国の省庁』(小峰書店)。

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 **法政大学出版局** TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

注 文 書	<b>かるた 〈ものと人間の文化史 173〉</b> ( 冊 )	書店名・ 番線
	ISBN 978-4-588-21731-9 C0321 定価 (本体 3500 円+税)	
	お名前: _____	
	お住所: _____ お電話: _____	